

平成29年度「男女共同参画推進フォーラム」開催要項

1. 趣 旨

男女共同参画を推進する行政担当者、女性団体やNPOのリーダー及び大学や企業において組織内のダイバーシティや女性の活躍を推進する担当者等が一堂に会し、課題の共有と課題解決のための方策を探る研修を実施します。同時に、組織分野を越え、連携・協働して男女共同参画を推進するためのネットワーク形成を図ります。

2. テーマ

つなぐ、あらたな明日へ
～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～

3. 日 程

平成29年8月25日（金）～8月27日（日）

4. 主催及び会場

独立行政法人国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6724、6725

FAX 0493-62-6720

Eメールアドレス progdiv@nwec.jp

ホームページ URL <https://www.nwec.jp>

5. 参加者

男女共同参画に関心のある方（行政、企業、大学、NPO等の組織において男女共同参画の推進に携わる方、並びに女性団体、女性／男女共同参画センター職員を含む。）1,000名

6. 内 容

【第1日】8月25日（金）

(1) 開会 主催者あいさつ 13:15～13:30

(2) 特別講演 13:30～14:40

変わる勇気、変えるアクション

～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～

ソウルオリンピック柔道銅メダリスト山口香氏をお迎えします。長年、男性が中心的存在であり、指導的地位の女性が少なかった柔道界。そこで、自ら選手とし

て、指導者として、道を切り拓いていった山口さんに、柔道を始めたきっかけ、選手・指導者として気づいた古いしきたりの矛盾、スポーツから学んだ行動力などについて、様々なエピソードを交えながらお話いただきます。一人ひとりが勇気を持ち社会に声を発すること、具体的に行動することの大切さと、性別にかかわらず全ての人が能力を発揮できる社会のあり方について、会場みなさんと共に考えます。

講師：山口 香 筑波大学体育系准教授

- (3) ワークショップ1・パネル展示1 15：30～17：30
会館提供ワークショップと全国から募集したワークショップやパネル展示を行います。

- (4) 懇親会 参加費 3,500 円（税込）、立食 18：30～20：00

【第2日】8月26日（土）

- (5) ワークショップ2・パネル展示2 10：00～12：00
全国から募集したワークショップやパネル展示を行います。

- (6) 40周年記念シンポジウム 13：00～15：00
自分が変わる、社会を変える～明日に向けてのロードマップ～

今年、NWE Cは開館から40年を迎えます。この間、グローバル化やIT化、少子高齢化の進行に伴い、家族の形態や働き方が変化し、多様な価値観が創出されるなど、日本の状況も大きく変わりました。このシンポジウムでは、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの推進、女性のリーダーシップ、男性の地域参画などの視点から、最前線で行動している方々にご登壇いただきます。これまでの男女共同参画推進の歴史を踏まえつつ、現在の日本が抱えている男女共同参画の課題を掘り下げ、男性も女性も共に働きやすく、暮らしやすい社会を創出するための議論を展開します。

パネリスト：

多賀 太 関西大学文学部教授

女性だけでなく、男性もまた固定的な「男性像」や「男らしさ」に縛られています。男性が抱える「生きづらさ」の可視化と分析を通じて、一人一人が能力を発揮して自分らしく生きることのできる社会を創るために何が必要かについて提言いただきます。

田中 恭代 旭化成株式会社 人事部付 シニアマネージャー
前 旭化成アミダス（株）代表取締役社長

女性社員の就労継続、女性管理職の登用拡大を目指し、社内における仕事と家庭の両立支援制度を整えた結果、女性社員の離職率激減させたことや、企

業トップの経験を踏まえ、女性が活躍できる仕組みづくりのポイントや、組織の風土改革について提言いただきます。

コーディネーター：

内海 房子 国立女性教育会館理事長

- (7) ワークショップ3・パネル展示3 15:30～17:30
全国から募集したワークショップやパネル展示を行います。

【第3日】8月27日(日)

- (8) ワークショップ4・パネル展示4 10:00～12:00
全国から募集したワークショップやパネル展示を行います。

- (9) 映画上映会 13:00～14:15
「アッラーと私とスカーフと」
カナダのトロントに住む4人のイスラム教徒の女性たちをめぐるドキュメンタリー映画。ヒジャブと呼ばれる髪を隠すスカーフを被るか被らないかという決断を通じて、彼女たちが自分の生き方を「自分で決める」姿を描きます。
上映前には監督の横間恭子氏が舞台挨拶及び作品の解説を行います。
横間 恭子 監督(カナダ在住)

7. ワークショップについて

(1) 趣旨

フォーラム期間中、会館及び一般公募による団体・個人が、男女共同参画、ダイバーシティ及び女性の活躍推進を目的とした日頃の取組や研究、教育、学習、実践活動の発表を行う場として、ワークショップ及びパネル展示を実施します。

(2) テーマ

ワークショップ及びパネル展示のテーマは「第4次男女共同参画基本計画」に示されている施策などを参考に設定した、以下の7分野です。

	テーマ：内容例
①	男性中心型労働慣行等の変革 ：ワーク・ライフ・バランスの推進、男性管理職等への意識啓発、男性の家庭・地域への参画、男性の男女共同参画に対する理解の促進等
②	女性の活躍と女性のキャリア形成支援 ：政策・方針決定過程への女性の参画の拡大、雇用等における機会の均等と待遇の確保、継続就業、再就職、女性管理職への支援、ポジティブ・アクションの推進、社会活動キャリアに対する評価、女性の能力開発への支援、女性のライフ・プランニング支援、女性起業家への支援等
③	学校教育における男女共同参画 ：大学における男女共同参画推進、科学技術・学術における男女共同参画の推進、女性研究者の参画拡大、小中学生向けプログラム、女子中高生への理系進路選択支援等
④	安全・安心と男女共同参画 ：女性に対する暴力の根絶、生活上の困難に直面する男女への支援、災害・防災への取組、高齢者・子ども・障害者・外国人等が安心して暮らせる環境の整備、人身取引等

⑤	地域づくりにおける男女共同参画 ：地域経済の活性化と女性の参画、地域や分野を横断するネットワークづくり、農山漁村女性のエンパワーメント、災害からの復興と地域づくり等
⑥	男女共同参画センターの役割 ：女性関連施設・社会教育施設の機能の充実、団体・NPO活動の支援、指定管理者制度のあり方、男女共同参画情報の発信・活用、女性関連施設における危機管理等
⑦	国際的な協調及び貢献 ：女子差別撤廃条約の遵守、国際規範の尊重、「北京行動綱領」の実現、男女共同参画の視点に立った国際貢献、国際機関・NGO等との連携、持続可能な開発のための2030アジェンダ等の情報提供等

(3) 会館提供ワークショップについて

会館から発信する学習支援や実践報告のワークショップを実施します。

①「ユースが見てきた世界とユースから見える社会」

8月26日(土) 15:30～17:30

10代から30代の若者が、今感じていることや身の回りで起きている問題について発信します。第1部では、ニューヨークの国連で開催されたCSW(国連女性の地位委員会)に参加し学んだ経験を国内外でどのように活かすにつなげていくか、実際に活動している先輩と共にパネルディスカッションを行います。第2部では、若い女性の生きづらさや見えにくい貧困、LGBTに対する/SOGI(性的指向と性自認)に基づく差別などユースの生きている現実について報告し、今後の取組みの可能性について会場の参加者とともに考えます。

コーディネーター：草野 由貴 JAWW会員CSW61メンター
女性と人権全国ネットワーク事務局

報告者：唐木まりも JAWW会員CSW61参加
国際基督教大学4年

飯塚 帆南 日本BPW連合会インターンとしてCSW61参加
三井不動産レジデンシャル株式会社

山下瑛梨奈 アムネスティ・インターナショナル日本
キャンペーン担当

竹下奈都子 特定非営利活動法人BONDプロジェクト広報

布施えり子 フリーター全般労働組合/キャバクラユニオン
共同代表

カワセミ のんき代表

②「男女共同参画の視点に立ったキャリア開発プログラムを考える」

8月27日(日) 10:00～12:00

男女共同参画社会の実現を推進するためには、地域課題の解決に向けて男女共同参画の視点から体系化された効果的な学習プログラムの開発・企画することと同時に、それを展開していくための人材としての「学習オーガナイザー」が必要です。このワークショップでは、学習プログラムの設計図となる「プログラムデザイン」の解説や、これまでの「学習オーガナイザー研修」事業の成果報告、

フロアとの意見交換を通じ、今後「学習オーガナイザー」が果たす役割とその可能性について探ります。

講師：神田 道子 国立女性教育会館事業課客員研究員

ファシリテーター：西山恵美子 国立女性教育会館事業課客員研究員

(4) ワークショップ選定委員

募集ワークショップ（ワークショップの部、パネル展示の部）の選考と調整を行います。

- ・犬塚 協太 静岡県立大学国際関係学部教授
- ・小山内世喜子 前NPO法人全国女性会館協議会代表理事
- ・小野島恵子 公益財団法人21世紀職業財団開発事業部長

8. 参加申込・受付について

(1) 日帰りまたは通い参加の方

事前申し込みは必要ありません。直接、本館1階の受付にお越しください。

当日記入する「日帰り・通い参加申込書」は会館ホームページからダウンロードできます。

(2) 会館への宿泊を希望される方

別紙「宿泊申込書」に必要事項を記入の上、国立女性教育会館事業課宛に郵送、または、Eメールかフォーラム専用申込みフォームからお申し込みください。

宿泊申込期間：7月10日（月）より開始

*先着順、満室になり次第締め切ります。（満室となった際は御自分で近隣の他の宿泊施設を御手配ください。）

*送受信の行き違いを防ぐため、FAXでのお申込みは不可とさせていただきます。

*部屋割の都合上、他の参加者の方と相部屋となりますことをあらかじめ御了承ください。ただし、体調などの関係でシングル希望の方は申込書に御希望の旨記載ください。

*当日の宿泊申込はできませんので御了解ください。

9. 所要経費

(1) 参加費：無料

(2) 宿泊費：フォーラム開催期間中及び前泊・後泊は、小学生以上1泊あたり1,200円。

★未就学児はベッドパッド代として1名あたり1泊500円。

(3) 懇親会費：3,500円 8月25日（金）18:30～20:00、立食形式、本館レスト

ラン（8月25日（金）夜は、食堂の通常営業を行いません。）

*宿泊費及び懇親会費は当日受付で集金します。

10. 託児（事前申込制、先着順）

フォーラム期間中、おおむね1歳以上から学齢未満のお子様の託児を実施します。ご希望の方は、8月10日（木）までに事業課フォーラム担当まで御連絡ください。ただしお預かりすることのできるお子様の人数に限りがあります。

11. 情報コーナー（場所：本館1階南側レストラン前）

参加者の皆さまが、所属する団体の男女共同参画を推進に関わるパンフレットやチラシなどの資料や書籍など、自由に交換・販売するコーナーを設置します。資料の運搬、陳列、金銭の取扱いなどは、各自の責任でお願いします。

12. 送迎バス

期間中、国立女性教育会館本館前～東武東上線武蔵嵐山駅東口間で無料送迎バスをピストン運行します。

*運行間隔は、1時間に3～4本程度です。

13. その他

以下の点について、あらかじめ御了承ください。

- (1) 参加者同士の交流・情報交換の促進を目的とした場ですので、署名運動や行き過ぎた勧誘、募金等のご遠慮願います。
- (2) 申込書等で得た個人情報については、事業実施のための連絡及び参加者の統計情報として使用します。その情報は厳重に管理し、取扱いには十分留意いたします。
- (3) 期間中、当館が撮影した写真を記録や広報に使用することがあります。